

本報告書について

まだまだ寒い季節ですが、本格的に春学期が開始し、授業も中間テストを挟むなど、忙しくなってきました。課題や予習などの量も増え始め、多くの学生が勉強している姿が見られます。本報告書では授業やその進行状況について、また学内の様子などを記述します。



図1 ブリザードに見舞われた学内



図2 学内で行われたコンサート会場の様子

授業の進行や課題について

授業も本格的に始まり、毎週多くの課題が出ます。特に今学期は理工系のみならず文系の講義も受講しているため、その大変さがよく身にしみます。

理工系の講義、特に情報系では、予習のような準備は指示されず、事前に与えられた課題をこなすことが自然と予習につながります。そのため、講義では課題と関連性の高いことを詳しく学び、あくまで自習の補助を行っているように感じました。この講義進行のためか、一部の学生は自身の理解が講義を追い越していると感じると、自身の学習に集中するため授業に出ないこともあるようです。

文系の科目ではあらかじめの予習をもとに、ディスカッションを行う事で理解を深める形式が多い様です。まさに反転授業の形をとっており、個人での考え方をいかに共有できるかという点に力を置いていると感じました。

また、中間テストの時期にさしかかり、私もいくつかテストを受けましたが、やはり英語でのテストは難しく感じます。以前より読解力も上がり、勉強の早さも上昇しましたが、それでも大学英语に慣れるのには時間がかかると実感しました。英語が原因で点数を取れないときはとても悔しく感じます。

受講している講義について

CS418 Interactive Computer Graphics

OpenGLを使ったコンピューターグラフィックスの授業です。最初の週の課題を提出し、それまでの内容の中間試験を終えました。課題に関しては問題なかったのですが、やはりテストの勉強には時間がかかり、うまく解けない設問もしばしばありました。

現在は二つ目の課題に取り組んでいます。前回の文字を作成してアニメーションをつけるという課題から急激に発展し、フライトシミュレーターを作るという課題です。とても長い課題期間があるのですが、他の講義の課題や予習も重なり、進捗が良くない状態です。今週末に完成させるまでやっつけてしまおうという計画で、友人とともに課題をする予定です。

CI437 Educational Game Design

前回の報告のあと、すぐに私たちのチームのプレゼンテーションがありました。私たちのテーマは Game and Interactivity だったため、インタラクティブなゲームを調べるのにとても長く時間を割きました。

プレゼンテーションの形はとても興味深く、EGBDs (Educational Game Break Downs) と呼ばれ、授業内でゲームを実際にプレイし、楽しむことでそのゲームの内容を深く理解するというものでした。ある程度のプレイののち、その体験をもとにディスカッションをします。普通の発表と違い、発表者側として意見を用意しますが、必ずしもそれが正解とは限らず、最後のまとめはクラス全員で作りに上げるというものです。

また、チームプロジェクトも始まりました。チームプロジェクトではボードゲームの作成を行います。ゲームの楽しさはもちろん、学習的な要素も取り入れなければならない、どのようなゲームが面白いのか、どの様にすればプレイヤーが多くの知識を取り入れることができるのか、ということを考えつつ、毎週制作を行っています。春休み前までに完成させなければならない、時間が少なくなってきたため、集中しなければなりません。

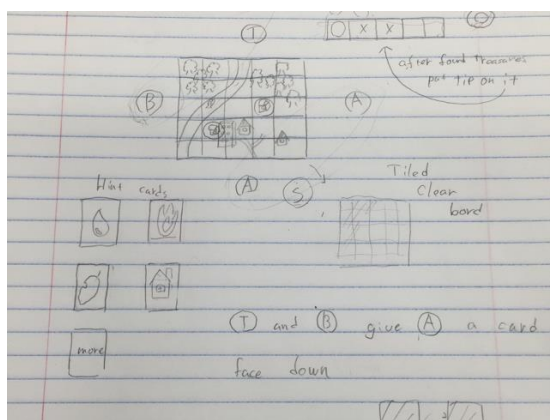


図3 ボードゲーム作成の計画



図4 Fab Lab と呼ばれる作品制作のための施設

CHIN202 Elementary Chinese 2

前学期は日程で参加できなかった Chinese Language Table に参加し始めました。一時間の間、できる限り中国語をしゃべってみるというものです。やはり、ネイティブの方が自然に喋る中国語は難しく、理解することができません。しかし、いくつかの単語は知っているものがあり、何についての会話なのかは理解でき始めました。英語もまだまだですが、中国語という新しい言語に触れたことで、言語を学ぶということがいかに面白いのかを知ることができました。やはり、多くの人種がいる地で言語を学ぶのはとても新鮮です。

EALC250 Japanese Culture

週三回の講義があり、うち一回はディスカッションのクラスとなっています。ディスカッションのための予習が最も大変なクラスだと感じています。毎週 100 ページを超えるリーディングがあり、自身でしっかりと理解を行わないと、自分の意見を講義中で発言することができません。自由な発言ができるということが如何に難しいかということを学びました。やはり日常会話レベルの英語では足りないのだと実感させられました。

この講義でも中間試験がありました。試験内容は想像していたものとだいぶ違い、歴史的事実のみならず、多くの論文や文献での解釈をもとにした設問もあり、如何によく多くの本を読み理解しているかということが問われる形でした。

次回のテストではこの点を踏まえて勉強を行わなければならないと考えています。

以上で2月分の報告とさせていただきます。